

設立10周年を迎えて

耐震総合安全機構 理事長 深澤義和からのご挨拶

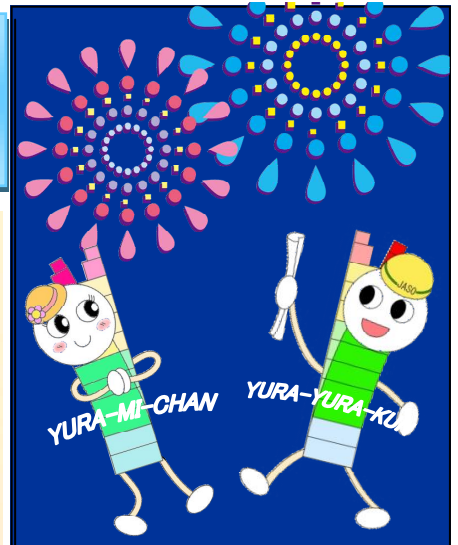
今年1月に設立
10周年を迎え、今
までの活動を総括す
るとともに、今後の
活動の方向性を確認
するために、10周
年記念事業を実施し
ました。主な事業と
して、記念誌を発行
するとともに、記念



理事長 深澤義和

講演会、祝賀会を開催しました。また、会員のプロ
フィール・意向確認のアンケートも実施しました。10
周年記念事業委員会、事務局などの皆様の多大なご協力
により、盛大にすべての事業が遂行されました。関係者
の皆様のご努力を感謝します。

さて、現在のJASOは、自治体との協調による個別
の建物の耐震化を支援することが大きな活動となってい
ます。また、JARAC時代より進められてきた総合耐
震安全性を促進する啓発活動も滞りなくすすめていま
す。今後も、この両方を着実に進めることがJASOの
使命です。JASOが進めようとするのと、一般市民
の方々が必要とすることをうまく整合させ、信頼される
特定非営利活動法人として、今後さらに活動を進め、10
年後の20周年記念事業をまた盛大に行いましょう。



目次:

理事長のごあいさつ	1
総会の報告	2
10周年式典・講演・祝賀会報告	3
2013年会員アンケートの結果	4 5
建築再生展の報告 リーフレット紹介	6
協力会員ご訪～問!	7
お知らせ&スケジュール	8

文京区NPO活動PRフェア出展

時：9/7（日）12：30～
場所：文京シビックセンター
ミニ教室にてJASOアドバイザー
伊藤正利氏が「マンション耐震
化」についてお話しします。

JASO協力会からのお知らせ

今年も11月に「ボージョレ・ヌー
ヴォーを味わう秋の夕べ」の開催
を予定しています。同時に教育研
修委員会・協力会共催のセミナー
も検討しています。聴きたいテー
マ、発表したい製品や技術があり
ましたら、協力会事務局・李（u-
ri@axis-slit.com）までご連絡くだ
さい。

2014年JASO通常総会の報告

6月6日、学士会館（東京都千代田区神田錦町）にて、2014年度通常総会が行われました。138人の出席（内 委任状59名）で総会が成立し、5つの審議事項は全て承認されました。

第1号議案 2013年度事業報告の件

理事会・委員会活動、事業の報告が行われた。

アドバイザー派遣は298件、簡易診断は91件、耐震診断は87件を実施。

評定の実績は85件（内23件が耐震改修計画）。

第2号議案 2013年度収支決算報告の件

当期収入は昨年度より約800万円増、支出合計は昨年度より約300万円減。当期収支差額は3,589,904円。

第3号議案 2014年度事業計画の件

今後は最近3年間と比較し、事業規模が縮小していくことが予想される。事業を確実に推進し、事業支出を適正に管理し、次の10年に向けて新たな活動にも取り組むこととする。今年度は、10年間の総括、総合安全性に関わる技術課題の整備、耐震化支援事業の確実な推進、JASOの基盤整備の4点を軸に活動を発展させる。

第4号議案 2014年度活動予算の件

経常収益は耐震化支援事業が減少することから、昨年度決算額より約1億円減を見込んだ予算とした。

第5号議案 定款変更の件

NPO法の改正を受け、定款の見直しを行い、かつ現況に合わせた変更を行う。主な変更点は、従来「その他事業」としていた総合安全性の評価等を「特定非営利活動」に移行、会員種別・入会・退会等の規程整備、「事業計画及び収支予算並びにその変更」等を総会で決議すべき事項から削除し理事会で決議すべき事項に変更、など。（坪内真紀）



総会の様子（学士会館320号室）



10周年式典・講演会・祝賀会の報告

2004年に設立された耐震総合安全機構も本年設立10周年を迎え、記念式典が6月6日、学士会館（東京都千代田区神田錦町）にて行われた。3部構成の式典に先立ち、10周年記念誌、記念品（コピーダウン対応の三角スケール、JASOデザインのエコバッグ）が配布された。

第一部 設立10周年記念式典 15時～16時（学士会館202号室）

深澤義和理事長の主催者挨拶に続き、東京都都市整備局市街地建築部耐震化推進担当課長 恵比奈裕征様から来賓挨拶を頂戴した。つづいて、佐藤寿一常務理事がスライドを用いJASOの10年の歩みとして、JASO前身の耐震設計者連合JARACの設立からこれまでの歴史を振り返るとともに、JASO方式の耐震化支援の発展と実績について説明が行われた。またこの10年のあいだ、JASO事業への理解と特段の支援を下された「一般社団法人マンションリフォーム技術協会」「化研マテリアル株式会社」「アクシス株式会社」「株式会社リニューアルウイングス」に感謝状が贈呈された。続いて新特別会員「中田準一氏」「中田亨氏」「三木哲氏」が紹介され、安達和男副理事長が閉会の挨拶を行った。



特別会員に推挙された三木哲氏(左)、中田亨氏(中)、中田準一氏(右)

第二部 記念講演 16時20分～17時50分（学士会館202号室）

実践的防災・危機管理の第一人者である、防災システム研究所所長の山村武彦先生をお招きし、「迫り来る首都直下型地震と危機管理」についてご講演頂いた。現場主義（真実と教訓は現場にあり）を掲げた活動から得られた実践的な知見を通して、日本の災害史と社会への影響を解説され、さらに災害時における人間の心理を掘り下げ、それをもとに大規模地震・災害に日頃からどのように備えるか、生活者として心掛ける事などを講演された。平易な言葉で非常に分かりやすく、話に引き込まれる講演であった。



防災システム研究所所長 山村武彦先生

第三部 記念祝賀会 18時20分～20時（学士会館201号室）

開会の挨拶は深澤義和理事長、来賓として、東京都都市整備局市街地建築部長 佐藤千佳様、公益社団法人 日本建築家協会会長 芦原太郎様、一般社団法人 日本建築構造技術者協会 専務理事 福島正隆様から祝辞を頂戴し、河野進副理事長の発声で乾杯が行われた。多くの来賓の参加もあり、和やかかつ華やかな雰囲気での祝賀会となった。115名が記念祝賀会に参加され、盛会のうちに山内哲理副理事長の中締め挨拶で閉会した。
(江守芙実)



10周年にふさわしく盛況であった記念祝賀会の様子。

2013年会員アンケートの結果 JASO常務理事 佐藤寿一

1. アンケートの目的

JASOは、NPO設立後10年が経ち、特に2011年の東日本大震災以降、多くの入会があり増加しました。新たに会員となった方も含めJASOの活動に参加するひとり一人の方の思いを大切に、これからのJASOの活動を更に発展させるため、昨年10月に全会員を対象に「会員アンケート」を実施しました。

少々遅くなりましたが、「ゆらゆら」の本号でアンケート結果の概要をお知らせします。アンケート結果の集計結果は、JASOホームページの会員専用ページに載せますのでそちらをご覧ください。

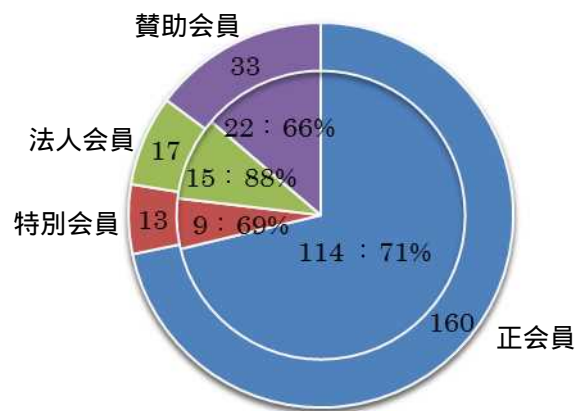
2. アンケート項目と回答率

アンケートの内容は、以下の項目です。

各会員の氏名、住所、連絡先などの基本情報
上記の情報の会員名簿などへの掲載の許諾
JASOが設置する各委員会活動への参加意向
耐震ADなど、自治体支援事業への参加意向
今後の会員サービスの有り方について
JASOについての自由意見

アンケートには、会員223名のうち160名の方から回答をいただきました。（回答率72%）

会員ごとの回答率は、図1のとおりです。
現在JASOがホームページなどで公開している
会員情報の公開については、回答をいただいた全ての方から「承諾」をいただきました。



3. JASO委員会活動への参加意向（設問2）

現在活動している委員会への参加については、運営委員会など常設の委員会を含め多くの方から参加を希望する回答を得ました。

参加を希望する方が多かったのは、「補強設計研究会」（34人）、次いで「非構造部材耐震化検討会」（18人）、「地域ぐるみ耐震化研究会」（17人）などです。また、常設委員会では、「技術情報委員会」（16名）が最も多く参加希望が出されています。

JASOが今後取り組むべき調査研究活動は、別表-1のとおりで、12項目が挙げられています。この中には、既に取組んでいるものもありますが、JASOでは会員による自発的な調査研究活動を、できるだけ支援していきたいと思っています。各テーマを挙げた方には、是非、新しい研究グループの立ち上げをお願いします。

4. 自治体の事業への参加意向（設問3）

自治体の耐震化支援事業への参加については、現在アドバイザーとして活躍している方のほか、新たに参加の意向を持つ方も多くいました。

今後、耐震化を働きかけたほうが良い自治体としては、都内では千代田区、中央区、台東区、大田区、渋谷区、板橋区、中野区、八王子市、立川市、西東京市、調布市、多摩市の7区、5市が挙げられており、その他東京近郊の自治体として横浜市、川崎市が挙げられたほか、大阪市、名古屋市なども挙げられています。

5. 会員サービス（設問 4）

JASOが現在会員の皆さんに情報提供のツールとしている機関紙、JASOホームページの利用状況は、表-2のとおりです。

HPにあると良い情報としては、「各支部の活動報告」、「今までの講習会資料」、「耐震工法（製品）の技術情報」のほか、JASOが行っている事業に関連する情報の掲載を希望する声が多くありました。

今後の会員向けセミナーの開催希望では、耐震化事業に関するセミナーのほか、「天井材などの非構造部材に関するセミナー」、「現地見学会」なども挙げられています。

各会員へのE-mailによる情報提供については、回答をいただいた全ての方から「賛成」の回答をいただきました。（積極的に活用すべきとの意見も複数いただきました。）

今後希望する会員サービスとしては、「耐震補強に必要な調書等の情報提供」、「建築基準法令データベースの購入」といった事業に直接関係するもののほか、「会費を安くする」、「慰安旅行」といったものもありました。

6. その他の自由記載（設問 5）

JASOの活動についての自由意見欄にいただいた意見は、合わせて27件の意見がありました。JASOが行っている事業に関する要望、意見が多く寄せられましたが、「一般市民向け活動を充実させるべき」、「関連他団体との協力を密にし、耐震問題に関しJASOが中心的役割を果たす」、「国際交流について積極的に活動すべき」など、今後のJASOの有り方を見据えた意見も寄せられました。

7. アンケート結果の総論

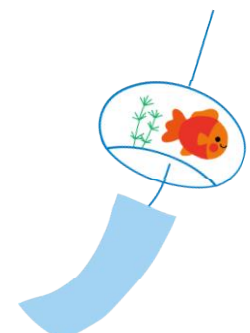
今回皆様からは、すぐ対応できそうなものからJASOとしてじっくり取り組むべき課題まで様々な意見をいただきました。JASOでは、いただいた意見をもとに、会員の皆さんが活動しやすい環境づくりに努めたいと思います。また、今回のアンケートに関わらず、JASOの活動についてお気付きの点がございましたら遠慮なくご連絡くださるようお願いいたします。

1	図面の無い建物の調査方法	7	現地見学会、補強技術交流
2	自治体の耐震化策と補助制度	8	BCP、BGMの観点から建物を考える
3	マンションの避難安全性に係る法令の時系列整理	9	省エネ・エコロジー
4	3分野のグレイゾーンの法令等の整理	10	木造の耐震診断・耐震化
5	構造、設備、意匠が一体化した改修技術の体系化	11	耐震性能と不動産評価
6	免震、制震を含む補強工事の施工方法の検討評価	12	地震発生の予測研究

表-1 新たな取組むべき課題

	必ず見る(人)	たまに見る(人)	見ない(人)
ゆらゆら	68	33	1
JASOホームページ	12	84	7
会員専用ページ	15	63	22

表-2 JASO発信情報の閲覧状況



活動報告

R & R 建築再生展に出展しました

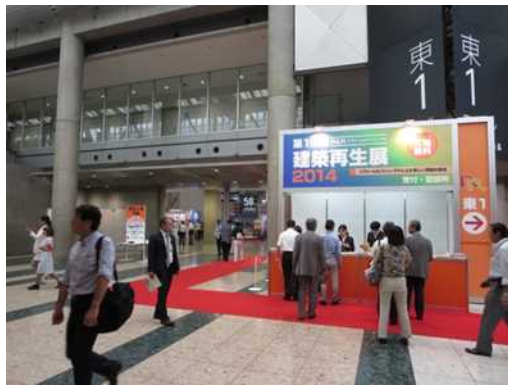
毎年恒例の「R & R 建築再生展」が東京ビックサイトで開催され、今年も出展いたしました。第19回となる今回は2014年6月18日～20日の3日間で延べ34,000人ももの来場者があり大盛況でした。

また、会場では特別セミナーも開催され、当会会員の柳下雅孝氏が「マンションを長持ちさせる給排水設備改修ノウハウ」と題し、分譲マンションにおける設備改修の勘所について講演し、こちらも満員御礼でした。



右：セミナーにて設備改修の必要性を説く柳下雅孝氏。
下：建築再生展の様子。

JASOのブースでは多くの方がパンフレットを手に取った。



リーフレット 紹介

『ライフラインを地震から 守るための対策(給水設備編)』

新しいリーフレット「ライフラインを地震から守るための対策(給水設備編)」ができました。

JASOが唱える耐震総合安全性は、構造体のみならず避難安全性やライフラインの地震対策といった視点も重要です。今回は、ライフラインの中でも「給水設備」に的を絞って、脆弱な現状や必要な対策などについてまとめました。各区で行ってきた簡易診断などにより、都市の頭上には地震に弱い設置状況の高置水槽が数多くあることがわかり、建物の補強と共に水槽の地震対策も急務です。

一般の生活者にもわかりやすいよう写真や図を多用し、6ページで簡潔にまとめてあります。冊子は事務局に多数ありますし、ホームページからもダウンロードできますので、どうぞ積極的にご利用ください。
(柳下雅孝)



協力会員様ご訪～問！

第18回

青木あすなる建設株式会社

このコーナーではJASOの法人会員・賛助会員の会社を訪問し、耐震への取組状況についてお伺いします。皆様ご協力をお願いします。

1950年に創業したあすなる建設株式会社と、ブルドーザー工事を主として創業した株式会社青木建設が2004年4月に合併して10周年を迎えた青木あすなる建設株式会社へお邪魔しました。

技術開発、建築事業、土木事業を行なっている中で、耐震化への取り組みが活発になったのは、1995年1月阪神・淡路大震災がきっかけでした。それまでも耐震化工事を行っていたものの、想定される大地震に耐えられる耐震性能を確保するため、RC系の建物用に独自の制震ブレース工法を3年かけて日本大学と共同開発し、1998年より文科省の補助を受けた学校校舎や共同住宅を中心に、耐震化工事を実施しています。経営理念の「改革」「スピード」「ベクトル」をまさに実現した形になります。現在、制震ブレースによる耐震化工事は約60件にのびます。

制震ブレースは、摩擦ダンパーと鋼管ブレースで構成されています。摩擦ダンパーについて、模型を用いて性能やエネルギーの吸収方法などを説明して頂きました。4タイプあるダンパーは建物荷重等により選定、外径は190.7mmと216mmの2種類、これにより採光や通風に影響が少ないスリムな外観を可能にしてい

ます。（制震ブレースは概ね震度5強以上で稼働しエネルギーを吸収します。3.11大震災時は、関東圏で取付けたブレースについては、大きな稼働はなかったとのこと。実際に設置した建物へ、制震ブレースを確認しに行ったのですが、僅かな動きを確認出来たとのことです。大地震時に威力を発揮！）

施工事例などもいくつか説明して頂きました。バルコニー側への施工事例として「クラウンハイツ」と、外部廊下側への施工事例として「蓮根ファミリーハイツ」は、東京都の耐震バスターに組み込まれています。クラウンハイツでは、3階から分譲住宅となっており、2階事務所屋根から制震ブレースを設置しているため、杭の打設を行なっていません。蓮根ファミリーハイツでは、区から助成を受けるために大臣認定を取得し、共用廊下側での工事に臨みました。どのマンションも制震ブレースの設置後、居住者から住環境についてクレームが出ていないとの言葉が印象的でした。

今後はこの制震ブレースの技術を用いて、耐震補強工事を積極的に展開していきたいとの言葉から、今後の発展が期待されます。

（倉内あかり）



解体予定の小学校校舎の外壁に制震ブレースを取付け、仮動的実験を実施。結果、頂点変位の最大値は無補強時で68mm、補強時は32mmと半分以下に低減された。



インタビューに応じてくださった青木あすなる建設の皆様
右：建築技術本部 耐震事業部 部長 齋藤 富士雄 氏
左：建築技術本部 耐震事業部 主任 藤井 琢磨 氏

取材協力： 青木あすなる建設株式会社 建築技術本部 耐震事業部
TEL:03-5419-1021 (<http://www.aaconst.co.jp/>)

.....お知らせ.....

- 新刊紹介 -

6月30日に毎日新聞社より

「地震に強いマンションにする55の方法」が
 発行されました。

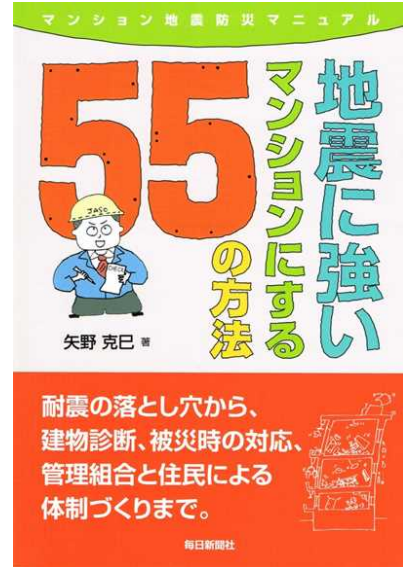
著者はJARAC・JASOの生みの親である矢野克巳氏です。
 JASOの安達和男、長尾直治、坪内真紀が執筆協力、
 JASOパンフレットでおなじみの瀬谷昌男がイラストを担当
 しました。

マンションをもっと強くするためのガイドブックとしてお役
 立て下さい。

著者：矢野克巳

発行：毎日新聞社

定価：本体2,000円 + 税



2014年 JASO 行事スケジュール

8月	8/5	(火)	補強設計会議(午後)
	8/26	(火)	アドバイザー会議(午後)、アドバイザー実務講習会
9月	9/7	(日)	文京区NPO活動フェア(文京シビックセンター 12:30~16:00)
	9/9	(火)	アドバイザー会議(午前)
	9/19	(金)	理事会、JASO臨時総会
	9/30	(火)	アドバイザー会議(午後)、アドバイザー実務講習会
10月	10/14	(火)	アドバイザー会議
	10/28	(火)	アドバイザー会議、アドバイザー実務講習会

JASO10周年記念誌「人の暮らしに安全を」についてのお知らせ

10周年式典にて配布しました記念誌とエコバッグですが、多少の在庫が事務局にございます。
 ご入り用の方はお問い合わせください。
 広報・営業活動等にぜひお役立てください。

JASO協力会からのお知らせ(広告)